

どんぐり（小枝）あてゲーム

どんぐりや小枝など投げやすいものを木の幹や柱などの目標物にあててみよう。

君は目印に正確に当てられるかな？

準備するもの

- ・特になし

ねらい

- ・自然素材には様々な重さのあることを知る。
- ・力の加減を知る。

ながれ

1. どんぐりや小枝など、簡単に投げられるものを一人10個集めてくる。
2. 3～5m程度の距離に目印となるものを決め、最初に当てた人が勝ち。
3. または、10個のうち、いくつ当てたかを競争することもできる。

※子どもの年齢や参加者の体力に差があるときは、的からの距離を変えたり、目標物への当てやすさを変えたりすることが調整できる。
(例えば、太い木と細い木など)

ポイント

自然の中には一つとして同じ重さのものはない。重さや形によって力の加え方を変える必要があるなど、理科的な力や距離といった感覚を経験的に学ぶことができる。

発展

集めた色々なものを重さ順に並べてみると、物質によって重さが違うことがわかる。

例えば一つだけ実際に重さを測ってみて、持ち比べてみることで、重さ当てゲームにつなげる。

室内での学びでは身につづらい、距離、重さ、力などの重さの感覚を養うこともできる。

重さを実際の感覚とつなげる機会を持つことは、学校で習う理科の概念の理解に役立つ。

